都市再生整備計画 フォローアップ報告書 第皿期中央地区

令和5年2月

愛媛県西条市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4一① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

141-4.	休氏4-													
	指標 単位		従前値	目標値	事後評価				フォローアップ゜lこ	計測時期	フォローアップ 時点での達成	確定値が評価値と比較して大きな差異がある 場合や改善が見られない場合等		総合所見
			변함		評価値			1年以内の 達成見込み		百 烈时规	度	理由	改善策の方向性	₩6 O 771 元
指標1	市内で新たに就職、 就業した者の数	人/3年	0	300	529	確定 見込み ●	0	あり なし	. 429	R4年4月	0		□ 改善策に補強が必要	創業者支援事業や総合6次産業都市の取組の効果により、市内での新規就業者数が増加した。
指標2	煙2 西条居住誘導区域内	Д	24,026	24,579	24,331	確定	Δ	あり	24,325	R4年4月	Δ	- I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値には達しなかったが、まちな か居住の推進や市営住宅等の整備 により、従前値から微増となった。更
71178-	人口					見込み ●		なし						に、喜多川朔日市線が整備され、住 宅の開発が促進されつつある。
指標3	西条商店街空き店舗 率	%	39.1	35.0	37.7	確定 見込み ●	Δ	あり なし ●	36.8	R4年4月	Δ	感染症の影響による		目標値には達しなかったが、商店街 空き店舗活用事業等の効果により、 一定の効果が得られた。
指標4	石鎚山登山者数	J	57.494	59,000	36,792	確定	×	あり	31.761	R4年4月		新型コロナウイルス 感染症の影響(施設 ■ 改善策はそ 運休、緊急事態宣 □ 改善策に補	■ 改善束はそのまま	新型コロナウイルス感染症の影響で、まん延防止措置による移動制限
			·	·		見込み ●		なし	·			置)	□ 新たに改善策をたてる	やロープウェイなど施設運休のため、目標値に達しなかった。
指標5	観光入込客数	人	3,342,342	3,777,000	2,242,980	確定	×	あり	1,941,962	R4年4月		新型コロナウイルス 感染症の影響(イベント中止、緊急事態	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要	新型コロナウイルス感染症の影響で、まん延防止措置による移動制限
						見込み ●	なし	なし	1,0 11,002			宣言 士/ 孤吐 山世 口 蛇七 に 功美姫 たしてる	や各種イベントの中止等のため、目標値に達しなかった。	
						55.2.7		,				置)	1	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

	指標		従前値	目標値・	事後評価				フォローアップ゜に	計測時期	フォローアップ 時点での達成	確定値が評価値と比較して大きな差異がある 場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の 達成見込み	よる確定値	日 (火) h4 (火)	度	理由	改善策の方向性	171 JE
その他の数値指標1	いとまち来場者数	Д	0		125,322	確定 見込み ●			246,483	R4年4月			口 改善策に補強が必要	いとまちマルシェなどの各種イベントが開催され、来場者数の増加につながった。
その他の数値指標2	アウトドア石鎚及び周 辺施設(オアシスオー トキャンプ場、椿交流 館)の入込客数	Д	243,965		248,216	確定 見込み ●			266,939	R4年4月			□ 改善策はそのまま	ハイウェイオアシスへのアクセス道 路整備による動線整理やアウトドア 石鎚による拠点形成により、石鎚山 はじめアウトドアエリアの吸引力向 上に寄与した。
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4一③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

	ト 添付様式5一③に記載した)まちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
	官民連携の積極的な展開による交流機能の向上	・糸プロジェクト等の民間まちづくり活動を通じて、市民や民間事業者が主体となるイベントの開催		・引き続き、地域交流の活性化のため、官民連携による新たな賑わいの創出に取り組む。	
・成果を持続させるために 行う方策	中心市街地への回遊性の向上		出自体が停滞している状況であり、今後とも中心市	・いとまちやアウトドア拠点等まちの魅力向上に資する施設と連携 し、各拠点間の回遊性向上・交通利便性を高め、中心市街地の 魅力増進を推進する。	
	積極的な施策展開による移住者の増加	の出展 ・個別無料移住体験ツアーの実施	・移住相談数及び移住者数が増加傾向にある。	・移住セミナー・フェア参加者へのアフターフォローや移住を考え 始めた方へのアプローチを行っていく必要がある。	
改善策	都市機能の集積	・立地適正化計画に基づく届出制度の運用	・誘導施設の緩やかな誘導及び立地動向の把握に 努めている。	- 都市機能誘導区域内への誘導施策の検討	
・まちづくりの目標を達成するための改善策・残された課題・新たな課題への					
対応策・その他 必要な改善策					

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4一④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項